

荷主企業から見た内航海運

コスモ石油株式会社
供給部 物流グループ長

松山 幸弘 様

当社における内航海運

2019年10月11日

1. 当社の概要（1）

商号	コスモ石油株式会社
発足日	1986年4月1日
資本金	1億円
事業内容	原油・石油製品の輸出入・精製・貯蔵・販売等
製油所	千葉、四日市、堺

※2015年10月1日、コスモエネルギーホールディングス株式会社が発足。資本金400億円

商号	コスモ海運株式会社
設立日	1954年12月14日
資本金	3.3億円（コスモ石油100%）
事業内容	石油製品の内航輸送、船舶代理店事業等
運航船舶数	41隻（内、自社船2隻） ※石油・AS・LPG船
社員数	86名（陸上）46名（海上）40名

Oil & New

石油のすべてを。次の「エネルギー」を。

求められるエネルギーは、変わる。
私たちは、その声に全力で応えていきます。

主力事業である石油開発事業、石油事業の収益力を強化し財務基盤を確立するとともに、
長期的な環境変化を見据え、
再生可能エネルギー事業への積極投資や石油化学事業の競争力強化など
事業ポートフォリオの拡充を図ってまいります。

コスモエネルギーグループ経営理念

私たちは、地球と人間と社会の調和と共生を図り、
無限に広がる未来に向けての持続的発展をめざします。

調和と共生

地球環境との調和と共生 エネルギーと社会の調和と共生 企業と社会の調和と共生

未来価値の創造

顧客第一の価値創造 個の多様な発想による価値創造 組織知の発揮による価値創造

メッセージスローガン

お客様へのメッセージスローガン 社内へのメッセージスローガン
ココロも満タンに ずっと地球で暮らそう。

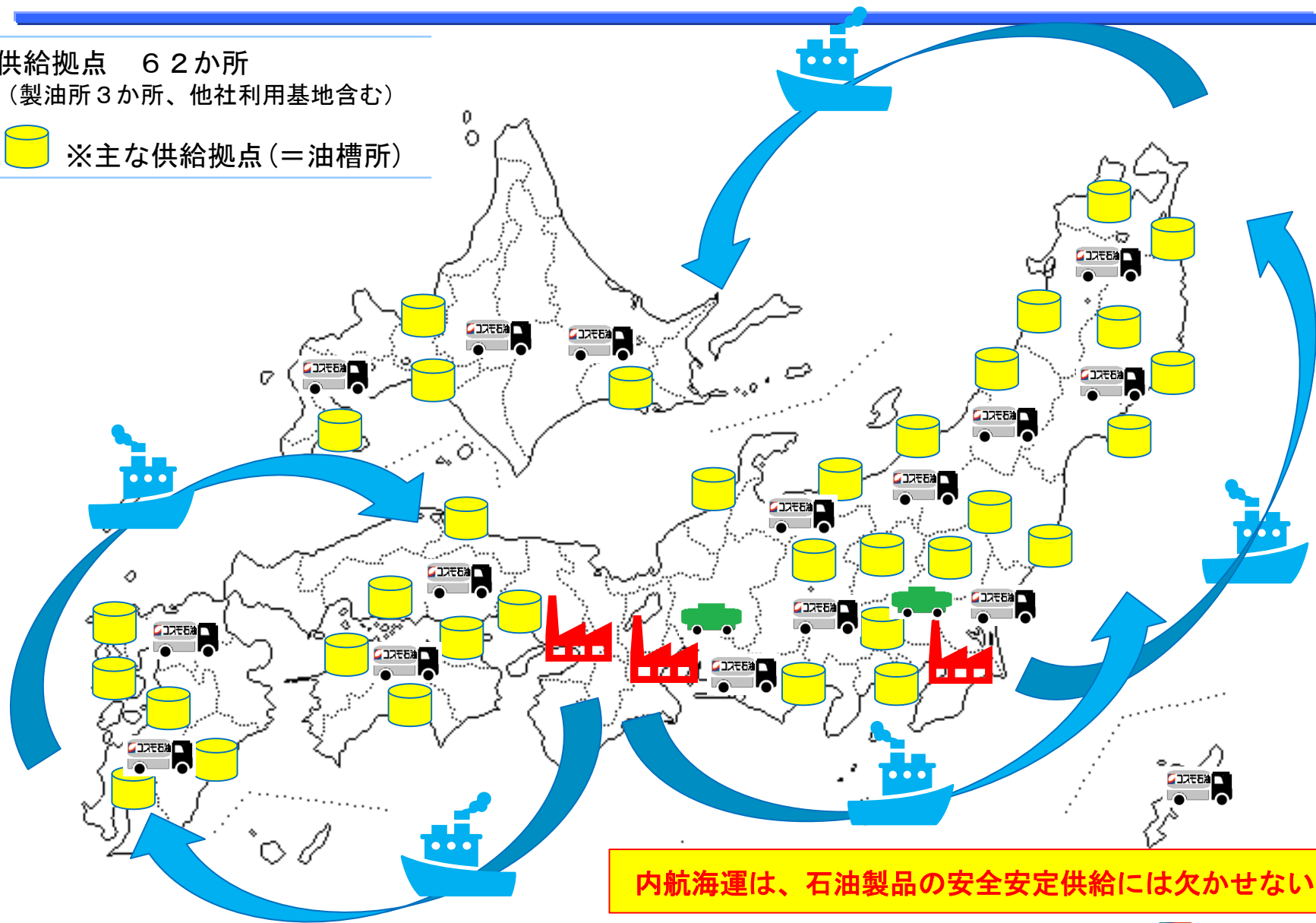
1. 当社の概要（2）

事業概況	石油開発事業	石油事業 (精製・販売)	石油化学事業	再生可能エネルギー 事業等	合計
<p>概要</p> <p>売上高 (2018年度実績)</p> <p>経常利益 (2018年度実績)</p> <p>従業員数 (2019年3月末時点)</p> <p>主な資産 (2019年3月末時点)</p> <p>主な事業会社・ 関連会社 (2019年3月末時点)</p>	<p>アフブ酋長国連邦・アブダビ酋長国、カタール国において、原油の自主開発・生産を行う事業です。</p> <p>1,117億円</p> <p>569億円</p> <p>271名</p> <p>原油埋蔵量(確認・推定) 167.0百万バレル 約18年分の供給量に相当</p> <p>原油生産量 約5.2万バレル/日 原油処理能力比 約13%</p> <p>パートナーシップ オペレーターシップ(自社操業) 50年にわたる産油国との 中東地域において日系企業の 協同な関係構築 オペレーター会社としては最大規模</p> <p>コスモエネルギー開発 アブダビ石油(UAE) カタール石油開発(カタール) 合同石油開発(UAE/カタール)</p>	<p>輸入した原油を製油所で精製し、全国のサービスステーションや工場等へ販売する事業です。</p> <p>2兆5,269億円</p> <p>142億円/249億円 (在庫影響除き)</p> <p>4,481名</p> <p>原油処理能力*1 40万バレル/日 国内シェア 約11.4%</p> <p>国内販売量 国内SS数 内閣燃料油 サービスステーション(SS)数 20,566千KL 2,792箇所</p> <p>コスモ・ザ・カード会員枚数 マイカーリース 約433万枚 累計60,579台</p> <p>コスモ石油 コスモ石油ルブリカンツ ジクシス(LPG) コスモ石油マーケティング コスモ石油販売 総合エネルギー</p>	<p>ポリエステル繊維、ペットボトル、プラスチック、合成ゴム等の原料の製造を行う事業です。</p> <p>4,586億円</p> <p>153億円</p> <p>1,164名</p> <p>オレフィン製品 生産能力 エチレン 129万t/年*3 国内シェア 約19%</p> <p>アロマ製品 生産能力 パラキシレン 118万t/年 ベンゼン 73.5万t/年 ミックスキシレン 61.8万t/年</p> <p>丸善石油化学(千葉/四日市) コスモ松山石油 CMアロマ(千葉) Hyundai Cosmo Petrochemical (韓国)</p>	<p>石油関連以外の事業です。主に再生可能エネルギーとして、風力発電事業を展開しています。</p> <p>602億円</p> <p>103億円*2</p> <p>872名</p> <p>風力発電能力 26.7万kW 国内第3位 国内シェア6% *2019年4月末時点</p> <p>太陽光発電能力 2.4万kW</p> <p>コスモエコパワー(風力発電) コスモエンジニアリング コスモトレッドアンドサービス</p>	<p>2兆7,704億円*2</p> <p>967億円/1,074億円*2 (在庫影響除き)</p> <p>6,788名</p> <p>企業認知率 98.4%</p> <p>調査対象は、自家用車で最近1ヶ月以内にガソリンスタンドを利用した18~64歳の男女1,239名(2017年10月30日時点)</p> <p>*1 事業提携に属する(出光石油シェル石油グループからの33.7万バレル/日増産の提供、半製品の供給も含む。 *2 差額処理を含む *3 三菱エチレン(丸善石油化学が55%を出資する連綿子会社)の生産能力を含む</p>

2. 製油所および物流拠点

供給拠点 62か所
(製油所3か所、他社利用基地含む)

 ※主な供給拠点(=油槽所)



内航海運は、石油製品の安全安定供給には欠かせない

3. 内航海運について

➤ 安全安定供給の確保

国内製品需要は今後も減少が見込まれる中、石油精製元売各社はサプライチェーン全体の効率化・合理化を進めており、その中でも長距離・大量輸送に優れる内航海運は重要な位置づけ。

また、石油はエネルギーの太宗且つ危険物という性質上、安全安定供給が我々の最大の使命。今後も内航海運の位置づけは変わらない。

➤ 内航連絡会をはじめとするこれまでの取り組み

このような認識のもと、オペ会社及び船主経営トップと元売物流トップは「内航連絡会」を設置し、定期的な意見交換を行ってきた。

- ・「荷役作業軽減に係るガイドライン」に基づく取り組み
- ・「安全基準統一」項目見直しへの対応

➤ 安全安定供給における懸念事項

- ・ 熟練船員退職における安全運航への支障
- ・ 船員希望者の減少、若年層の離職
- ・ 船主様の後継者問題